

手話による教育、聴覚障害者と聴者の共存をめざす

第41回

ろう・難聴教育研究大会のご案内

2019年8月24日（土）～8月25日（日）

主催 ろう・難聴教育研究会（旧トータルコミュニケーション研究会）

40数年前、手話導入や情報保障をスローガンにこの研究会が発足しました。当時、ろう・難聴児は、口話を強要され手話が禁止されていたため、「わかる」授業から隔てられ、自分たちの言葉を持つことができないまま社会へ出ていかざるを得ませんでした。以後、聴覚障害者の手に手話が戻るにつれ、彼らが力をつけ活躍できる時代になってきました。

ところが人工内耳の出現で新たな時代を迎えています。人工内耳がすべてを解決するような過度の期待、手話を否定する考えすら生まれています。強制異動も教師の専門性の向上を阻害し、ろう・難聴教育の発展にとって大きな脅威です。

昨年の40回大会の記念事業として、時代が求めており、関係者に役に立つ次のような冊子の発行を決めました。一つが0歳から不可欠になった早期母子支援のための手引書、二番目がろう・難聴児の育児、教育に関わる方たちのための言語学入門書です。今大会で著者自身に冊子に込めた思いを語ってもらいます。

大会での初めての試みとして映画上映を行ないます。フランスろう学校で実際に起こったことが、日本のろう学校、ろう者の姿の鏡になっています。「東京ろう映画祭」を立ち上げた映画作家の牧原依里さんが、自分自身の体験や映画祭にかけた思いを語りながらろう児の主体性を否定するろう教育に警鐘を鳴らします。

大宮ろう学園は坂戸ろう学園とともに2020年の全日ろう研を主管します。ろう幼児の主体性を尊重する独自の幼稚部実践を全日ろう研にさがかけて紹介していただきます。

人工内耳は驚異的な医療技術です。聴力回復や言語生活の効果に大きな可能性があります。しかし限界にもしっかりと目を向ける必要があります。手話と日本語をどう両立していくのか、ろう・難聴者と聴者の共生をどう実現していくのか、パネルディスカッション「聴覚障害教育は人工内耳とどう向き合っていけばよいか」では、人工内耳装用当事者の体験に学びながら活発な議論を期待しています。

保護者、当事者、ST、医療関係者、ろう学校教員、学生の方、手話学習者など、広く、ろう・難聴教育と医療関係の皆様のご参加をお待ちしております。

ろう・難聴教育研究会会長 長谷川 洋

1 名称	第41回ろう・難聴教育研究大会		
2 主催	ろう・難聴教育研究会（旧トータルコミュニケーション研究会）		
3 期日	2019年8月24日（土）	9：10受付開始～	
		8月25日（日）	～17：00終了
4 会場	日本大学文理学部 オーバルホール（2号館左隣の図書館3階） 〒156-8550 世田谷区桜上水 3-25-40 TEL 03-3329-1151		
5 問合せ先	FAX 03-3884-9582	メール info@edh.main.jp	前田芳弘
	TEL 03-3579-8355	森崎 恵子	

参加要項

1 参加費

		2日間参加	1日のみ参加	交流会参加
会員	一般	5000円	3000円	2500円
	学生・親	2000円	1000円	2500円
非会員	一般	7000円	4000円	2500円
	学生・親	4000円	2000円	2500円

2 申込方法

(1) 受付の混乱を避けるため、8月14日までに「参加申込書」の提出と「参加費の送金」をしてください。「参加申込書」は、当研究会ホームページ <http://www.deaf.or.jp/edh/> (検索語: ろう・難聴教育研究会) で取得できます。下記のFAX番号、メールアドレス宛てに請求することもできます。

FAX 03-3884-9582 メール info@edh.main.jp 前田芳弘
メールマガジンの申し込み先 info@edh.main.jp 長谷川 洋

*送金と参加申込書を確認し、領収書兼参加票として、メールかハガキをお送りします。

当日、受付にメールコピーかハガキを提示して下さい。

*送金は8月17日まで。それ以降は当日受付でお支払いください。

(2) 参加費の振込み (この口座は大会専用口座です。会費は振り込まないでください)

① ゆうちょ銀行から振込み 記号10330 番号81638681 加入者名 セキネ クミコ

② 他金融機関からの振込み 店名・店番038

普通預金 口座番号 8163868 加入者名 セキネ クミコ

*会費の振込みは、ゆうちょ銀行から下記宛お送りください。(大会受付での支払いも可)

口座記号番号 00110-2-314972 加入者名 ろう・難聴教育研究会

(3) 「参加申込書」の送り先 (森崎 恵子宛) (8月21日まで可)

メール info@edh.main.jp FAX 03-3579-8355 郵便 〒173-0005 板橋区仲宿 35-7

(4) ろう・難聴教育研究会会員への加入のお誘い

「会費 年額4000円・学生3000円」

年2、3回の会報・冊子、大会・小研究会の割引参加などの特典があります。

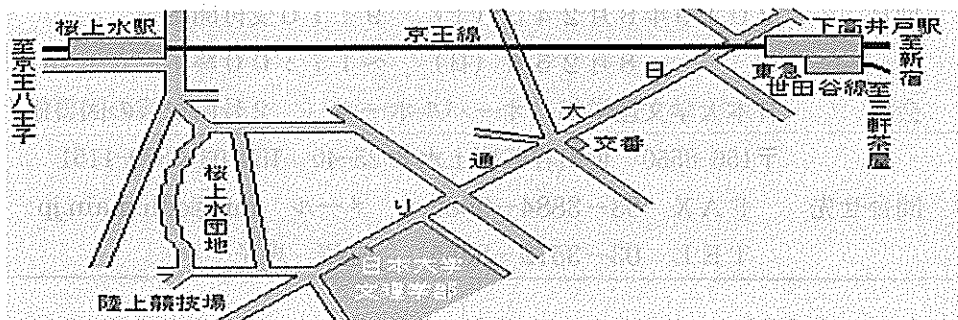
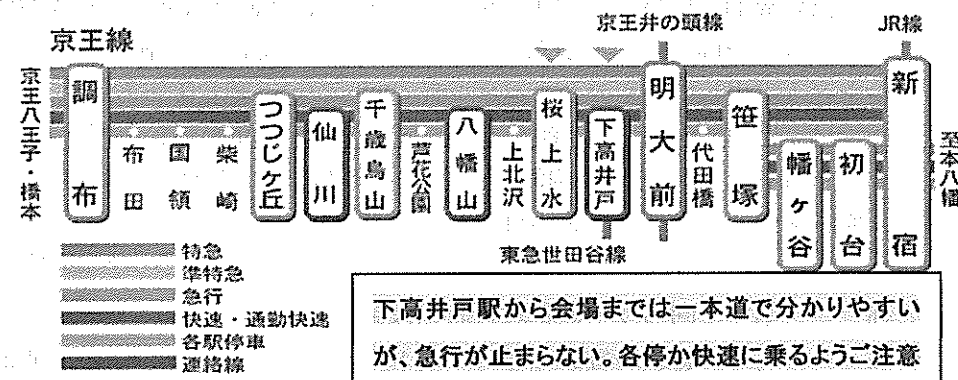
大会当日、受付で新規会員入会の手続きができます。会員になられた方には、その場で大会参加費の減額分(最大2000円)を返金します。

3 会場案内 (日大文理学部HPからコピーしました。)

交通 京王線 下高井戸駅あるいは桜上水駅下車、徒歩8分

●京王線新宿ー下高井戸間(乗車時間10分) ●

京王線新宿ー桜上水間(乗車時間12分)



プログラム

情報保障（手話通訳、パソコン文字通訳）があります。

8月24日(土) 日本大学文理学部 オーバルホール(2号館左隣の図書館 3階)	
9:20	受付 (事前申込受付、当日受付、入会・継続手続き) 書籍販売
9:50	会長あいさつ
10:00	出版記念講演① 南村洋子
12:00	『聴こえない・聴こえにくい子どもの理解のために—早期支援担当者の方々に—』 私は、実際に子どもたちや保護者にかかわった経験からこの本を執筆した。できるだけ聴こえない世界に立ち、子どもたちの気持ちや考えを尊重したつもりである。当日は、私が、この本を書くに至った経緯やその背景についてお話ししたい。
12:00	昼食(ご自分で用意するか、大学生協食堂、近くのお店で食事をお願いします。)
13:00	映画上映 「ヴァンサンへの手紙」(監督:レティシア・カートン、112分)
15:00	聴者の価値観を押し付けられ「治す」対象にされる苦しさ、辛さを描いたフランスのドキュメンタリー映画。フランスのバイリンガルろう学校が紹介されている。
15:00	映画作家・牧原依里さんとの対談 (対談登壇者は交渉中)
16:30	自ら立ち上げた「東京ろう映画祭」(2017年)でこの映画に出会った。小2まで手話禁止のろう学校で育った。聴者の学校に転校し、手話や指文字や筆談で生きてきた。人工内耳によって手話が否定されることに警鐘を鳴らす。現状を変えるための話をうかがう。
16:30	引き続き、ろう・難聴教育研究会総会を行います。
17:00	
17:30	交流会 (下高井戸駅周辺のお店:当日案内に地図・店の連絡先掲載します。)
8月25日(日) 日本大学文理学部 オーバルホール(2号館左隣の図書館 3階)	
8:40	受付 (事前申込受付、当日受付、入会・継続手続き) 書籍販売
9:00	出版記念講演② 矢沢国光(ろう・難聴教育研究会副会長)
10:20	『ことばは、コミュニケーションの中で育つ—ろう・難聴児教育のための言語学入門』 (聴こえる)子どもは、教えなくても、ことばを覚えます。ことばは、実は「教える」「教えられる」ものではなく、コミュニケーションを通して自然に獲得するものだったのです。子どもは、どうやってことばを獲得するのか?「ことば」とは何か?コミュニケーションとことばと日本語と手話は、どんな関係にあるのか。
10:30	ろう学校の教育実践報告 「自ら遊び、自ら学ぶ“ろう保育”をかかげて」 戸田康之(埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園) 「幼児教育」と「ろう理解」の観点から、幼稚部に通う個性豊かな子どもの「あそび」を援助し、幼児の「せいかつ」を組み立てる。大宮幼稚部の実践と研修、「自ら遊び自ら学ぶ“ろう保育”」を目指して“協働”する教員の悪戦苦闘を報告する。
12:00	昼食(ご自分で用意するか、近くのお店で食事をお願いします。大学生協食堂はお休みです。)
13:00	パネルディスカッション 「聴覚障害教育は人工内耳とどう向き合っていけばよいのか」 医療の立場からの情報提供・問題提起と人工内耳装用者の思いを受け、フロアーを交えてこの問題について議論を進めたい。
16:50	① 医療の立場からの情報提供・問題提起 斎藤 宏(帝京大学医学部附属病院耳鼻咽喉科言語室 言語聴覚士)
16:50	② 幼児期からの人工内耳装用者の思い(登壇者打診中) 人工内耳を装用し教育を受けてきた若者の体験と人工内耳への考えを伺う。
16:50	副会長挨拶
17:00	終了

2019年8月24日～8月25日

第41回ろう・難聴教育研究大会 参加申込書

※ は必ず記入して下さい。(その他は任意)。FAXかTELのいずれか記入して下さい。(メールマガジンをお送りします。未登録の方はメールアドレスを大きく分かりやすく記入して下さい。)

送り先：メール info@edh.main.jp FAX 03-3579-8355 (森崎)

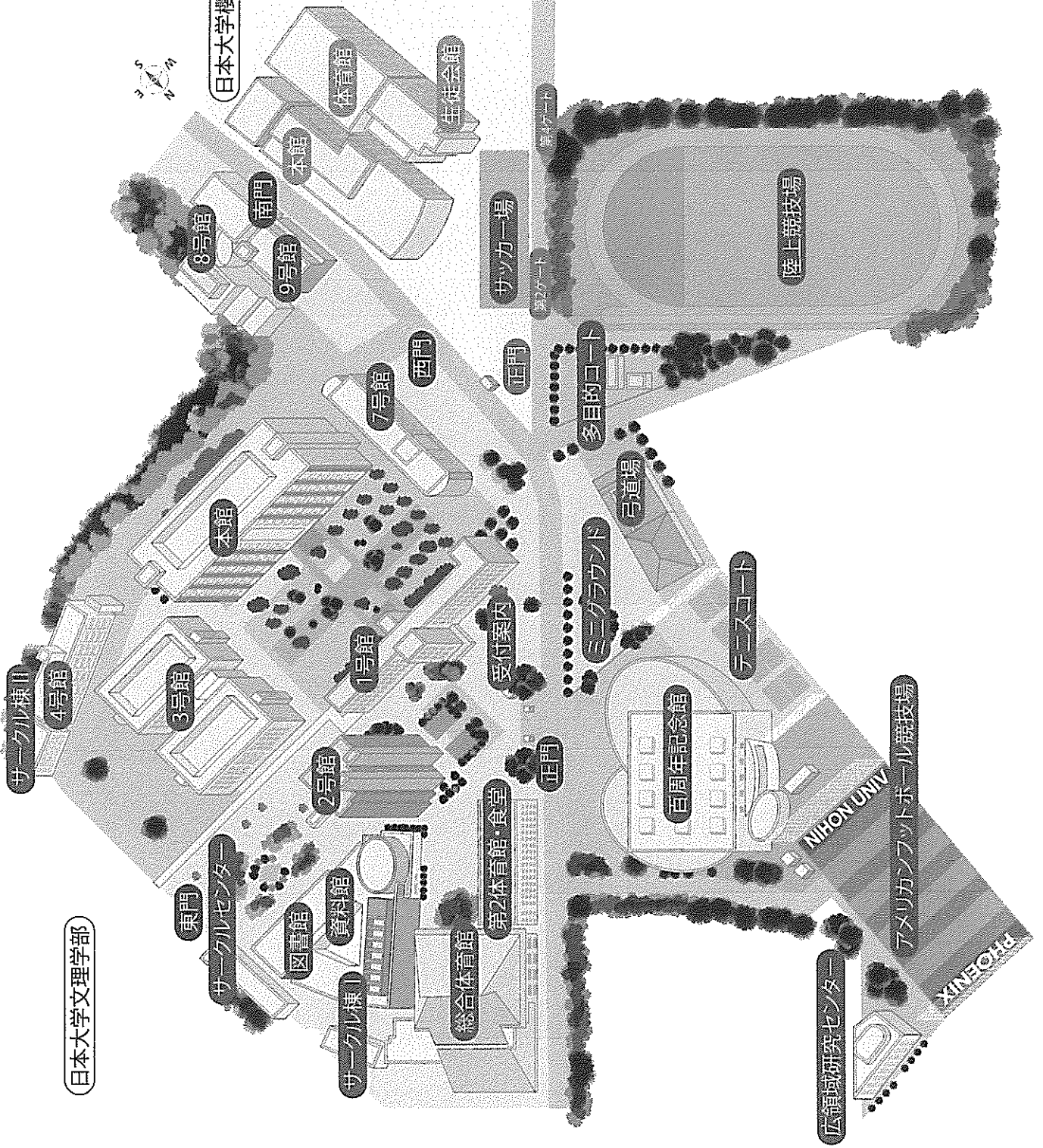
※ ふりがな		性別	※ 会員区分		コミュニケーション スタイル
※氏名		男 女	会 員	非会員	・ろう・難聴・聴
※住所 (〒)					
※FAX		※TEL			
※E-Mail					
所 属 団 体	※ご自身のお立場を○で囲んで下さい。 1. 学校関係者 2. 親 3. 手話関係者 4. 学生 5. その他 ()				

項 目		金 額	○をつけてください	
会 員	一 般	2日間参加	5000円	
		1日間参加	3000円	24日・25日
	学 生・親	2日間参加	2000円	
		1日間参加	1000円	24日・25日
非 会 員	一 般	2日間参加	7000円	
		1日間参加	4000円	24日・25日
	学 生・親	2日間参加	4000円	
		1日間参加	2000円	24日・25日
交流会参加費		2500円		
年会費 (学生 3000円・一般 4000円)		4000円		
振り込み予定日 (月 日)		合 計 (円)		
*大会参加費と年会費の送金先口座が異なるのでご注意ください。				

メモ欄：

日本大学文理学部

日本大学櫻丘高等学校



広領域研究センター

アメリカンフットボール競技場

陸上競技場

テニスコート

百周年記念館

ミニグラウンド

弓道場

多目的コート

サッカー場

西門

7号館

資料館

図書館

サークル棟Ⅲ

サークルセンター

東門

3号館

4号館

サークル棟Ⅱ

第2体育館・食堂

総合体育館

2号館

1号館

本館

7号館

8号館

9号館

南門

本館

体育館

学生会館

52ゲート

52ゲート

NIHON UNIV

XIN3016